

英語科 学習指導案

1. 日時 平成27年11月26日(木) 第5時限 13時25分～14時15分
2. 場所 第1学年3組教室(2号館3階)
3. 学年・組 第1学年3組(29名)
4. 教材名 三省堂 NEW CROWN ENGLISH SERIES 1
5. 単元名 Lesson7

6. 単元の目標

- ・助動詞 can を用いて、できることやできないことについて積極的に表現することができる。
- ・Can～?を用いて、できることを尋ねたり答えたりすることができる。
- ・助動詞 can を含むレポートを読んで、その内容を読み取ることができる。

7. 生徒観 略

8. 教材観

Lesson7では、車いすバスケットボールを題材としている。小学校でバスケットボールを経験している生徒は多い。今年度は、人権講演会で車いすダンサーの方を招き、バリアフリーについて考える機会があった。また、1年生の総合学習の中で福祉体験を実施し、障がいのある方と触れ合う機会もあった。こうした経験をもつ生徒たちが、本単元を学ぶ中で、様々なスポーツがあることを知ったり、目標をもって何かに打ち込むことの素晴らしさを感じたりする姿を期待したい。

9. 指導観

本単元で扱う助動詞 can は、既に小学校の外国語活動で慣れ親しんでおり、習得が比較的平易な文法事項である。Goal を紹介した後、Hi, friends! を用いて導入をし、文法知識をしっかりと定着させ、できることやできないことについて、自分や相手のことを表現したり、できることを尋ねたり答えたりすることができるよう指導していく。前課で動詞に s(es)の付いた三人称単数現在形について学習しているが、can の後は動詞の原形になることを、十分な音読練習、パターンプラクティスを通して自然と身につけさせたい。また、一斉、個人、ペア、グループなど、場面によって適切な学習形態をとり、学習意欲を高めたい。

10. 単元の評価規準

A コミュニケーションへの関心・意欲・態度	B 外国語表現の能力	C 外国語理解の能力	D 言語や文化についての知識・理解
・間違ふことを恐れず積極的にインタビューしている。(言語活動への取組)	①インタビューして、相手に、助動詞 can を含む文を使って、できること、できないことをたずねることができる。(話すこと) ②自分ができると、相手ができることを書くことができる。(書くこと)	①助動詞 can を含む会話を聞いて、話題となっている人物などができることとできないことを聞き取ることができる。(聞くこと) ②助動詞 can を含むレポートを読んで、その内容を読み取ることができる。(読むこと)	①助動詞 can に関する知識を身につけている。(言語についての知識) ②単語・表現についての知識を身につけている。(言語についての知識)

1 1. 単元の指導と評価の計画 (全7時間)

時	学 習 内 容	主な評価規準と評価方法
第1時	<ul style="list-style-type: none"> Lesson7 Goal の説明 Hi, friends!2 で can の導入 文法導入 (can の平叙文) 	C-①…観察 D-①…ペーパーテスト (後日)
第2時 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> Lesson7 Part1 の新出単語 Lesson7 Part1 内容理解、音読 文法活用 (can を使った活動、英作文) 	D-②…ペーパーテスト (後日) B-②…ノートチェック
第3時	<ul style="list-style-type: none"> 文法導入 (can の疑問文・否定文)、インタビュー活動 Lesson7 Part2 単語導入 	A …観察 B-①…観察 D-①…ペーパーテスト (後日)
第4時	<ul style="list-style-type: none"> Lesson7 Part2 内容理解、音読 文法活用 (Can~?を使ったリスニング) 	D-②…ペーパーテスト (後日) C-①…ワークシート
第5時	<ul style="list-style-type: none"> Lesson7 Read 新出単語、内容理解① 	C-②…口頭質問 D-②…ペーパーテスト (後日)
第6時	<ul style="list-style-type: none"> Lesson7 Read 内容理解②・音読 	C-②…ワークシート
第7時	<ul style="list-style-type: none"> Lesson7 まとめ (インタビュー活動、英作文) 	A …観察 B-①…観察 B-②…ワークシート

1 2. 本時の展開

(1) 本時の目標

- 教科書本文を参考にし、自分ができることと、友達ができることを表現することができる。

(2) 本時の評価規準

- can を使って自分ができること、友達ができることを書くことができる。 (外国語表現の能力)

(3) 判断基準

【外国語表現の能力】

A : 自分ができることと、友達ができることを、接続詞を使って1文で書くことができる。(重文)

B : 本文を参考にし、自分ができることと、友達ができることの英文を書くことができる。(単文)

※上記の基準に到達しない生徒への手立て

- 机間指導を行い、個別に関わってアドバイスしたり、グループ内での支援を促したりする。

(4) 本時の学習過程

時間	学習内容と生徒の活動 (・)	支援や指導上の留意点(○)と評価(◎)
5分 Warm up	①あいさつ ・曜日、日付、天気などの質問に答える。 ②Questions & Answers ・指示された語を用いて質問文を作り、発表する。他の生徒は、それぞれの質問文に対して答える。	○英語の授業だという雰囲気を作る。 ○集中して話を聞くように促す。

時間	学習内容と生徒の活動（・）	支援や指導上の留意点（○）と評価（◎）
12分 導入	<p>③本時のねらいの確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Today's Goal：自分ができることと友達ができることを表現することができる</p> </div> <p>④新出単語の導入 ・教科書 p.79, 80, 81 を見て、新出単語の確認をする。 ・CD（デジタルテキスト）の後について発音する。 ・ワークシートを使って新出単語を書く。</p>	<p>○ねらいを提示する。</p> <p>○デジタルテキストを表示する。</p> <p>○発音の際は、スクリーンに注目させる。</p>
15分 展開 ①	<p>⑤本文リスニング ・教科書またはスクリーンを見ながら本文を聞く。</p> <p>⑥本文に関する Q&A ・スクリーンに表示されるピクチャーカードを見て、いくつかの質問に答える。</p> <p>⑦本文音読 ・教師の後について読む。 ・CDの後について読む。 ・一人で読み、読み終わったら座る。 ・重要箇所を隠した本文を読む。</p> <p>⑧重要箇所確認 ・ノートに書いた本文の重要箇所にチェックを入れる。</p>	<p>○CDを流す。 ○後に質問をするので、2回目は内容をより意識して聞くよう促す。</p> <p>○ピクチャーカードを提示しながら、いくつか質問をする。 ○手が挙がらない場合は英文を易しくして質問する。 ○CDよりもやや遅いペースで読む。</p> <p>○難しい場合は教科書を見てもいいように促す。</p> <p>○生徒が見やすい板書を心がける。</p>
15分 展開 ② 3分 まとめ	<p>⑨Hot Potatoes Game ・机といすを動かし、グループの形になる。 ・準備ができたならグループ全員が立つ。</p> <p><ルール> ・音楽が止まった時点でボールを持っている人は、自分ができることについての英文を1文言う。 ・次の人は、前の人が出た英文を言い、さらに自分ができることについての英文を1文言う。 ・これを繰り返す。</p> <p>⑩英作文 ・ノートを開け、自分ができることとグループの一人ができることについての英文を書く。</p> <p>⑪振り返り ・自己評価カードの記入をする。 ・終わりのあいさつをする。</p>	<p>○グループに1つボールと、音楽を準備する。</p> <p>○ボールは下投げで手渡すように伝える。 ○数回行うが、全員が1回は当たるように工夫する。</p> <p>○ノートを開けるよう指示する。 ◎自分ができることと、友達ができることを表現することができる。</p> <p>○自己評価カードに必要事項を書かせ、回収する。</p>